

新春の御挨拶

東京都なぎなた連盟

会長 小坂 一郎



あけましておめでとうございます。
令和五年の新春を皆様におかれましては御健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。

ここ四年間はコロナウイルスのまん延で今迄にない経験と御苦労をなさったことと存じます。

本年になってすでに日本武道館では武道始めや東京武道館では東京武道館杯の大会も開催されましたが残念ながらいきませんでした。

これから各種大会や錬成会、各種講習会等も開かれることと思います。

今年はやや規制もゆるやかになると期待しております。

各地域のなぎなた連盟でも錬成会等も滞りがちだったと思いますが、今年はそれも例年通りになつてゆくと存じます。そして御家族の方やお知り合いの方の皆様の観戦も出来るのではないかと期待しております。

やはり武道と云うものは日頃の練習と技術の向上が大切です。思う存分に練習に励みさらに上をめざして頑張つて下さい。そして今年一年をつつがなく送られますことを切に祈っております。



日本武道協議会

武道功勞者表彰

範士 吉井 美恵子

令和5年1月9日（月）祝

令和5年1月9日、「鏡開き式・武道始め」が日本武道館で開催され、日本武道協議会より全日本なぎなた連盟専務理事、東京都なぎなた連盟副会長吉井美恵子先生が武道功労者表彰を（）受賞にられました。



多大なるご功績の一端を記載させていただきます。

*** 永年に亘り（公財）全日本なぎなた連盟強化普及発展に尽力し、令和元年度から専務理事に就任している。**

＊昭和51年から東京都なぎなた連盟指導員をはじめ事務局長、監事を務め平成12年から13年副理事長、事務局長として理事長を補佐し、平成14年理事長に就任してからは緊迫した財政を

各種事業と企画実施し、円滑な事業推進に取り組み成果をあげた。

＊昭和53年より開催されている全日本少年少女武道錬成大会では、初回大会より永年に亘り役員として企画運営に携わり、理事長就任の平成14年から16年間におよび主管地理事長として大会実行委員長を務め、大会運営を円滑に行った。

＊現在は東京都なぎなた連盟副会長として後任の指導、選手の強化にあたり選考委員長として会員の技術向上、資質向上に寄与している。

*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*
*

第77回国民体育大会
国体優勝功労者

公益財団法人
東京都体育協会

第77回国民体育大会

監督 徳地 昌代

選手 和田うらら

中島 沙織

北
希織

令和4年11月26日(土)

日本スポーツ賞
競技団体別最優秀賞

読売新聞社

なぎなた東京都成年女子チーム

德地 昌代・吉井 和代

和田 うらら・中島 沙織・北 希織

令和5年1月23日(月)

皇后盃第65回全日本なぎなた選手権大会 第22回全日本男子なぎなた選手権大会

期日 令和4年12月3日(土) 4日(日)

会場 兵庫県立武道館

女子監督 細井 優子
女子選手 和田 うらら

中島 沙織
北 希織

男子監督 和田 うらら
男子選手 田村 哲彦

黒川 哲志

監督 細井 優子

世界文化遺産・国宝でもある姫路城が建つ姫路市に於いて2回目となる標記大会が開催されました。

女子選手は今年度開催された栃木国体において試合で見事に優勝した3人が出場しました。全日本選手権は初めてという選手もいる中、それぞれが堂々と闘い抜いた姿がとても印象的でした。

残念ながら男子女子共に入賞には届かず悔しい思いもあったかとは思いますが、まだまだ成長が楽しみな試合内容でした。

久しぶりの有観客で、無声ではあつ



てもやはり会場に応援して下さる方々がいる心強さは大きいとの声が選手よりありました。

遠いところ足を運び応援してくださった皆様、そして日頃ご指導頂いてます先生方に心より感謝申し上げます。

監督 和田 うらら

感染症対策による多くの制限がかかる中、有観客開催のため、独特の張り詰めた空気の中でも温かい応援の中、試合が展開されました。今年度から試合時間が5分になったこともあり、男子の特徴でもあるスピード感のある試合や、遠間から繰り出されるダイナミックな技など、白熱した試合をより強く感じる事ができました。男子選手はどちらも惜しい結果でしたが、最後の公開演技まで堂々と、試合を楽しんでいたのが印象的でした。歳や時間を重ねるごとに、技や試合などは変わっていきませんが、なぎなたが好きな気持ちは変わらず、常に挑戦することが大切だと学んだ一日となりました。選手みなさま、お疲れ様でした。

令和4年度

公認コーチ強化研修会

北区 稲田 千秋

12月17・18日栃木県小山市栃木県立南体育館にて公認コーチ強化研修会が行われました。今までは、公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会でしたが、今年度は(公財)全連主催公認コーチ強化研修会として開催されました。

参加者46名の内、東京からは19名の参加。特別講義では同志社大学教授石井好二郎先生より『長寿社会とフレイル』について、適度な運動と社会活動が長寿社会に貢献しているとお話がありました。

研究協議では中村ゆり子・吉井美恵子先生方のもとテーマ別に課題に取り組み、実技研修では振り方、仕かけ・応じを班別に研修を行いました。問題点・疑問点を提示し、それをどう理解、解法へ向かわせるか、講師の先生方のコーチングを頂き、コーチ資格取得者の使命、意欲を新たに、背中を押された研修会でした。



令和4年度

第2回武道系部活動合同稽古

期日 令和4年12月29日(木)

場所 東京武道館 大武道場

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京武道館主催により、木本佐知子、荒川郭代、高井真理、池上佐保子、熊澤綾子、以上の先生方にご指導いただき小中高校生101名が参加し合同稽古が開催されました。

午前は団体基本の後、小手・すね当



てをつけて打ち返しを行い、その後小
学生と中高校生に分れ、それぞれの班
で基本の稽古を行いました。午後は各
班でしかけ応じを稽古し、その後全員
具をつけて高校生の元立ちに小中学生
が掛かり稽古、互角稽古を行いました。

中野区 根本 葉里(中2)

この日の稽古では、二人一組で3本
目の巻き落としの練習をしました。巻
き落としは難しくてなかなかコツがつか
めなかったのですが、何回も練習出来
たのでちょっとだけわかった気がし



ました。他には、やはり二人一組で掛
り稽古と互角稽古をやりました。途中
息が上がってしまいましたがとても楽し
かったです。中野の稽古でもやりま
すが、次々とお相手を変え他の区や学
校の方々と出来るのですごく良い経験
になりました。毎年、合同稽古に参加
していますが、毎回違うお稽古なので
とても勉強になります。そのお稽古を
活かして活躍している先輩方に続きた
いと思います！

都立調布北高校 近 佳純

私は今回の合同練習で、普段とは違
う環境下での練習の有り難さを実感し
ました。演技の練習中、相手の打突を
意識せずにいつもの自分の面の位置で
応じてしまっていました。しかし講師
の先生に教えて頂いたことで、大会に
向けたペアでの練習とは違い、初めて
演技を行う相手とは特に、機械的に応
じるのではなく、相手の打突に合わせる
必要があるとわかりました。どんな
相手との演技でも、美しく行えるよう
になりたいと思いました。

防具の練習では他校の方と練習する
ことへの緊張感がありました。発声や
打突の正確さが優れている人を間近で
見て、その差を実感し、そして今後の
部活動に精を出したいと感じました。

鏡開き式・武道始め

期 日 令和5年1月9日(月・祝)
会 場 日本武道館

新年恒例の標記行事が日本武道館に
於いて開催されました。

日本武道協議会表彰では、栄誉ある
「武道功労賞」を吉井美恵子範士(東
京都なぎなた連盟)、「武道優秀団体」
を栃木県なぎなた連盟が表彰されまし
た。心よりお慶び申し上げます。



表彰式の後各武道の模範演武が行わ
れ、武道始め(各武道稽古会)は、木
本佐知子教士・関祐介教士の指揮の下、
14区市64名が参加して行われました。
広い会場に凜とした空気と、はつらつ
とした声が響き渡り新年に相応しい稽
古会になりました。



令和4年度 東京都なぎなた指導者研修会

期日 令和5年1月21日(土)
会場 東京武道館

品川区 渋谷 桂子

東京武道館に於いて、講師吉井美恵子先生のもと30余名で標記の研修会が行われました。

同日、東京都なぎなた連盟主催の合同練習会が開催されており、準備体操・八方振り・団体基本を合同で行ない、会場は新年の稽古に相応しい光景でした。

令和4年度 合同練習会

期日 令和5年1月21日(土)
場所 東京武道館

中野区 成田 大樹

私の参加グループでは荒関先生にご指導いただきました。参加者一人ひとりを気にかけて各人の課題についてアドバイスをいただきました。特に印象に残ったのは、しかけ応じで何故そのような動きをするのかを理論的に説明いただいたことで、形の動きが腑に落ち、正しい動きができるようになったと自覚できたことです。

内容は、団体基本・元立のし方のご指導があり、的確な指示、呼吸の伴う基本打突をグループで確認。しかけ応じ・全日の形の再確認すべき基本的な点や個々の本数を具体的に解説して頂き、難度の高い技に取り組み充実した研修会となりました。



また他連盟の方達と交流できたことも新鮮で多くの刺激が得られ、充実した一日を過ごすことができました。今回学んだことを今後の日常の稽古にも活かしていきたいと思います。



第20回 東京武道館杯

期日 令和5年2月11日(土・祝)
会場 東京武道館

令和5年2月11日(土・祝)3年ぶりに表記大会が開催されました。

当日は集合するとすぐに第2武道場で競技が始まりました。コロナ禍の為に小・中学生に制限されての大会でしたが、指導者、保護者の観戦が可能となり、会場は凜としたなかにも競技者と観戦者の熱い思いが感じられる大会でした。

なぎなた競技は午前に終了し、12時からは大武道場で恒例の他武道の演武発表を拝見し無事武道館杯を終えることが出来ました。

《小学生の部》

優勝	南 和穂	江東区
二位	池田みちる	江東区
三位	田原 小桃	品川区
三位	伊藤小百合	港区

《中学生の部》

優勝	関 笙乃	練馬区
二位	根本 栞里	中野区
三位	上島 葉純	八王子市
三位	平野友泉乃	文京区



編集後記

令和4年度2回目のなぎなた便りをお届け致しました。いつも原稿依頼にご協力いただきましてありがとうございます。令和5年度は予定通り行事が開催されることを願っております。今後共ご協力をお願い申し上げます。